



平成 30 年 4 月 27 日

各 位

会 社 名 トランスコスモス株式会社
(登記社名:トランス・コスモス株式会社)
代表者名 代表取締役社長兼COO 奥田 昌孝
(コード番号 9715 東証第一部)
問合せ先 取締役 上席常務執行役員兼CFO 本田 仁志
TEL 03-4363-1111(代表)

平成 30 年 3 月 期 連結業績と前期実績との差異および
連結決算における営業外費用の計上ならびに
個別決算における特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 3 月 期(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)の連結業績と前期実績値との差異および連結決算における営業外費用の計上ならびに個別決算における特別損失の計上につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成30年3月期連結業績と前期実績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益又は 親会社株主に帰属する 当期純損失(△)	1株当たり 当期純利益又は 1株当たり 当期純損失(△)
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期実績(A) 平成29年3月期	242,314	8,080	6,742	7,156	172.92
当期実績(B) 平成30年3月期	266,645	6,092	1,802	△2,176	△52.47
増減額(B-A)	24,330	△1,988	△4,939	△9,332	
増減率(%)	10.0	△24.6	△73.3	—	

2. 差異が生じた理由

平成 30 年 3 月 期の連結業績は、単体サービスおよび海外関係会社セグメントにおいて、サービスの需要拡大により、売上高 266,645 百万円となり前期比 10.0%の増収となりました。利益につきましては、将来の成長に向けた先行投資に伴う販売費及び一般管理費の増加などの影響により、営業利益は 6,092 百万円となり前期比 24.6%の減益となりました。また、経常利益は一部関連会社ののれんを一括償却したことにより「持分法による投資損失」が増加し 1,802 百万円となり前期比 73.3%の減益となりました。特別損益についても「関係会社株式売却益」や「投資有価証券売却益」の減少と「投資有価証券評価損」の増加など一時的損失が発生したことにより、親会社株主に帰属する当期純損失は 2,176 百万円(前期は親会社株主に帰属する当期純利益 7,156 百万円)となりました。

3. 連結決算における営業外費用の計上について

当第 4 四半期連結会計期間において、一部関連会社ののれんを一括償却したことなどにより連結決算の営業外費用において持分法による投資損失 3,554 百万円を計上しております。

4. 個別決算における特別損失の計上について

当第 4 四半期会計期間において、当社が保有する関係会社株式につき、簿価に比べ実質価額が著しく下落することから、個別決算の特別損失において関係会社株式評価損 5,300 百万円を計上しております。

詳細につきましては、本日公表いたしました「平成 30 年 3 月期決算短信〔日本基準〕(連結)」をご参照ください。

以 上